

鹿児島で「砂の祭典」開幕

## 崇城大生制作熊本城も

鹿児島県南さつま市で3日、芸術家や市民が作った砂像を披露する恒例の「吹上浜砂の祭典」が開幕した。今年には明治維新150年をテーマに約100基が

お目見え。地元の薩摩藩士で維新の立役者となった西郷隆盛や大久保利通らを表した展示もある。27日まで。実行委員会によると、31回目の今年は延べ約千人が制作に参加。熊本地震から

2回パリ万博の様子を表した展示もある。27日まで。実行委員会によると、31回目の今年には延べ約千人が制作に参加。熊本地震から

の復興を願い、昨年に続いて崇城大(熊本市)の学生が熊本城をこしらえた。娘と訪れた徳島市の主婦津保珠代さん(57)は「これも迫力があり感動した。夜、ライトアップされた砂像も見てみたい」と声を弾ませた。



「吹上浜砂の祭典」で披露された、熊本城の砂像



西郷隆盛や大久保利通らが描かれた砂像